

令和元年度 東京情報大学総合情報研究所プロジェクト研究
研究実績報告書

1. 研究課題名

企業・団体の認知症サポーターに対する業種の特性を考慮したステップアップ講座の考案

2. 研究組織

区分	氏名	所属・職名
研究代表者	宮野 公恵	看護学部 看護学科・助教
研究分担者	大山 一志	看護学部 看護学科・助教
	成松 玉委	看護学部 看護学科・講師
	内田 治	総合情報学部 総合情報学科・准教授
	藤井 博英	看護学部 看護学科・教授
	柏葉 英美	岩手県立大学 社会福祉学部・准教授

3. 研究期間

2019年度

4. 研究の目的

平成30年度総研プロジェクト研究において、企業・団体の認知症サポーター活動の実際として新聞販売員による認知症高齢者への支援について調査した結果、業種の特性に応じたステップアップ講座が必要であることの示唆を得た。そこで本研究では、既に独自のステップアップ講座を実施して効果を得ている自治体を対象にインタビュー調査を行い、業種の特性に応じたステップアップ講座に必要な教育内容を抽出することを目的とした。

5. 研究報告

平成30年度全国認知症サポーターキャラバンの報告から、独自にステップアップ講座を展開している企業・団体及び自治体について調査し、効果を得ている自治体を選出した。その中で、研究協力の許諾を得られた広島市健康福祉局地域包括ケア推進課、および杉並区地域包括支援センターケア24 善福寺に、1)ステップアップ講座を開始した理由、2)ステップアップ講座に必要な教育内容、方法、時期、3)ステップアップ講座を実施した効果判定及び評価について、半構造化面接法で調査を行った。

広島市では、健康福祉局地域包括ケア推進課を中心として地域包括支援センター、特別養護老人ホーム等の福祉施設が連携し、ステップアップ講座内容の構築、講座の運営をするとともに、育成された認知症サポーターが活動できる場をオレンジカフェやグループホ

ームなどと共同して提供していた。また、地域包括支援センター ケア 24 善福寺では、独自に取り組んでいる「課題解決型ステップアップ講座」を実施しており、ステップアップ講座に必要な教育内容の要素について有効な資料を得た。現在、インタビューデータを分析中である。

6. 成果の公表

令和 2 年度日本看護科学学会にて公表予定である。